

地質情報管理士に合格して

応用地質（株） 須田 ゆきえ



平成28年7月に、地質情報管理士を受験し幸いにも合格することができました。

地質情報管理士とは、現場で得られた地質情報を電子化し、DB構築に必要な情報処理を管理する、また電子成果品を納品する際の品質を確保する、さらには、その成果品などをGISツールやWeb-GISを活用し二次利用するための知識を有する技術者であることが求められます。

この試験を受験するため（受験資格を得るため）に、昨年、地質調査技士（現場技術・管理部門）を受験し取得しました。

地質調査技士（現場技術・管理部門）を取得したあとは、「これで来年、地質情報管理士を受験できる。日頃の業務で電子納品業務を経験しているから、大丈夫だろう・・・」と安易に考えていました。しかし、申込みをするにあたり受験の手引きに掲載されている出題範囲を見て「電子納品の知識だけでは到底受からない!」、「受験日まで1か月余りしかない!」と焦りが募りました。

日中は仕事で勉強する時間が取れなかったため、帰宅後、家事が終わってから就寝するまでの短時間に勉強しまし

た。疲れている時は「今日はもういいかな・・・」と思う時もありましたが、少しの時間でも毎日続けることを心掛けました。

出題範囲の問題に慣れるため、（一社）全国地質調査業協会連合会サイトに掲載されている過去問を5年分、数回解きました。問題は分野ごとに分かれており、繰り返し解くことで自分の苦手な分野を把握することができました。苦手分野の問題（よく間違う、勘違いする）などは専門書を読んだり、スマートフォンで調べたりしてその場で理解するようにしました（分からないままにしない）。

また、事前講習のe-Learningも問題ごとの解説が詳しく記載されているため、非常に役立つものでした。

過去問を時間のある限り繰り返し解く、言葉の意味を理解しながら勉強を進めたことが今回の合格につながったと考えています。

資格は取得できましたが、「取得して終わり」ではなく、今後の業務に生かせるようさらに努力していきたいと思えます。